

第11期

# 『論語と算盤』読書会

渋沢栄一による『論語と算盤』を通じたディスカッションから、  
私たちの「いま」を考える読書会です。  
第11期の参加者を募集します。

対面  
全6回



渋沢栄一 渋沢史料館所蔵

## 概要

幅広い分野で活躍した渋沢栄一は『論語』を行動の拠り所とし、『論語と算盤』（1916年初版）という本を遺しました。近年では、『論語と算盤』の現代語表記本や現代語訳などが相次いで出版され、渋沢の思想から経営、仕事、人生のヒントを得ようとする関連書も多数出版されています。

本読書会は、『論語と算盤』をテキストに全10章の内容を毎月2章ずつ読み進めディスカッションを行います。終了時には、参加者一人一人がアドバイザーとなって『論語と算盤』の読書会を開けるよう、仕事や経営、教育、研究、生涯学習、地域活動など様々な場面で活かしていくことが目標です。

渋沢栄一や『論語と算盤』に関心がある方、また幅広い世代の方とのディスカッションを通じ知見を広げたい方にもおすすめです。

## 講師

### 守屋 淳(作家・グロービス経営大学院特任教授)

1965年東京生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。大手書店勤務を経て、現在は中国古典、主に『孫子』『論語』『老子』『荘子』『韓非子』などの知恵を現代にどのように活かすかをテーマとした、執筆や企業での研修・講演を行う。『現代語訳 渋沢栄一自伝』（平凡社新書）、『現代語訳 論語と算盤』（ちくま新書）、『渋沢栄一「論語と算盤」の思想入門』（NHK出版新書）『ビジネス教養としての「論語」入門』（日本経済新聞出版社）など。



ホームページ▶ <http://chineseclassics.jp/>

## 実施内容

形式▶ 対面(北とぴあ会議室)

期間▶ 2023年2月～2023年7月

実施日▶ 毎月第2土曜日

2023年：2月11日、3月11日、4月8日、5月13日、6月10日、7月8日

(ディスカッションは全5回、2月11日は守屋淳先生の講義を実施します)

時間▶ 14:00～16:00

参加費▶ 2,000円(全6回分、テキスト代含む)

定員▶ 30名(申込み多数の場合は選考を行います)

参加条件▶ ディスカッションを円滑に進めるため、全6回全ての回に参加できる方が対象。

欠席された場合でも参加費の返金はいたしませんのでご注意ください。

締切▶ 2023年1月20日(金)

申込み▶ 渋沢栄一記念財団ウェブサイトより申込みください。 <https://www.shibusawa.or.jp>

(トップページ⇒研究センター⇒企画・セミナー等情報⇒『論語と算盤』読書会)

